

政策シート (政策名) 消防団の防災体制の充実

(予算費目名) 消防団費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 いつでも、どこでも、迅速的確に対応する消防・救急体制づくり

◇政策の概要

地域の火災等の災害に迅速・柔軟に対応できる消防団の防災体制の充実に向け、消防団施設の建設に係る準備や維持管理及び消防団員の活動の安全性を向上させる装備等の拡充並びに活動環境の向上を図る。

◇関連するSDGsのゴール

①貧困	⑪都市	⑬気候変動							
-----	-----	-------	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	469,254	454,907	583,816	582,876	466,920
決算	438,488	425,870	548,276	529,186	
人件費(A)	35,200	35,200	35,200	35,200	42,200
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	473,688	461,070	583,476	564,386	509,120

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
公務災害発生件数の改善率(過去5年の最多発生件数9件からの改善率)	%	100	目標	100	100	100	100	100
			実績	66.6	66.6	88.9	44.5	
消防団員の充足率	%	100	目標	100	100	100	100	100
			実績	85.9	86.3	85.3	97.6	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

地域の火災等の災害に迅速・柔軟に対応できる消防団の防災体制の充実に向け、消防団施設の建設に係る準備や維持管理及び消防団員の活動の安全性を向上させる装備等の拡充並びに活動環境の向上を図る。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	遅れている
<ul style="list-style-type: none"> ・訓練や研修を実施し公務災害の防止に努めたものの、5件の公務災害が発生した。 ・消防団員の定員数と実員数の乖離を解消するため条例の一部改正を行った。 ・大学祭におけるPRブースの出展や公式インスタグラムの開設等、消防団員加入推進事業を実施したものの、即時の効果は現れていない。 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	消防団活動事業			○		298,147	291,147	1.0			
2	消防団施設運営事業			○		28,094	22,494	0.8			
3	消防団員福利厚生事業					149,246	143,646	0.8			
4	消防団運営経費					33,633	9,633	2.4	2.0		
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						509,120	466,920	5.0	2.0		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 消防団活動事業

◇事業目的・事業対象

消防団活動に対し、必要な費用の支出や被服の貸与を行い、消防団員の安全な活動を推進するとともに、消防団員の士気高揚と活動への市民の理解を深めることを目的とする。

◇事業の概要

- ・消防団員出動等活動事業
消防団員の災害出動等の活動に対し費用弁償を行う。
- ・消防団運営管理等交付事業(交付金)
消防団の円滑な運営管理を図るため消防団に対し、運営に要する経費を交付する。
- ・消防団員被服整備事業
消防団員の活動上必要な被服及び付属品を消防団の基準に基づき貸与し、消防団員の活動の安全性向上を図る。
- ・出初式開催事業
新年の消防演習として、消防装備、訓練等を市民に披露することで、消防活動及び防火防災についての理解を得るとともに消防職員及び消防団員の士気高揚を図るため、消防出初式を挙行するもの
また、式典にて優良な消防分団及び消防団員に対し表彰を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S23	-	一般会計	自治事務(法令義務)	消防団に関する条例	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	283,666	265,052	282,408	287,165	291,147
	決算	268,501	259,294	276,255	277,562	
	国・県支出		6,030	8,431	11,061	9,664
	市債					
	その他	3,231		75	81	76
	一般財源	265,270	253,264	267,749	266,420	281,407
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		5,600	5,600	5,600	5,600	7,000
人工	正規	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困	○ 1.5	⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.5
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

消防団員の安全な活動を推進するとともに、市民の防火防災に対する理解を深めることで、災害による被害の軽減を図る。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
公務災害発生件数の改善率(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	100	100	100	100	100	100	100	
実績値	66.6	66.6	88.9	44.5				

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
消防団員の充足率(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	100	100	100	100	100	100	100	
実績値	85.9	86.3	85.3	97.6				

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・消防団員出動等活動事業
消防団員の災害出動等の活動に対し費用弁償を行う。
- ・消防団運営管理等交付事業(交付金)
消防団の円滑な運営管理を図るため消防団に対し、運営に要する経費を交付する。
- ・消防団員被服整備事業
消防団員の活動上必要な被服及び付属品を消防団の基準に基づき貸与し、消防団員の活動の安全性向上を図る。
- ・出初式開催事業
新年の消防演習として、消防装備、訓練等を市民に披露することで、消防活動及び防火防災についての理解を得るとともに消防職員及び消防団員の士気高揚を図るため、消防出初式を挙げるもの
また、式典にて優良な消防分団及び消防団員に対し表彰を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・訓練や研修を実施し公務災害防止に努めたものの、5件の公務災害が発生した。
- ・災害出動及び訓練出動した消防団員に対し、費用弁償を適正に支給した。
- ・各支団、分団等に対し交付金を交付し、円滑な消防団運営を図った。交付対象: 団本部×1、ラッパ隊×1、支団本部×7、分団×79
- ・消防団員の活動の安全性向上のため、新基準の活動服をはじめ各種装備を配備の基準に基づき整備した。
- ・出初式を開催し、市民に対し消防の現勢を披露し理解を得るとともに、消防職団員の士気高揚を図った。
- ・消防団活動を効果的かつ効率的に実施するためには必要な消防団員数を確保することが必要であることから条定定数に対する充足率を追加設定した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・消防団員の安全な災害活動や大規模災害時下の消防団の活動範囲の拡充などを見据えた浜松市消防団充実強化計画に基づき、教育隊が各分団員に対して技術指導を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・引き続き、教育隊が各分団員に対して救助技術や応急救護技術の指導を展開していく。

補助シート (事業名) 消防団活動事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
〇〇				
〇〇				

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

事業シート (事業名) 消防団施設運営事業

◇事業目的・事業対象

老朽化や耐震性の劣る分団庁舎の建替えや改修を行うとともに、消防団活動用の資機材整備を行い、地域の消防防災拠点として充実強化を図ることを目的とする。

◇事業の概要

- ・消防団施設維持管理事業
消防団施設を適切に維持管理し、災害発生時の即時対応体制を保持する。
- ・消防団庁舎整備事業
消防団施設の老朽化や耐震性能不足を解消するため、計画的に改修・改築工事を実施し、地域防災拠点としての整備及び施設環境の改善を図る。また、女性消防団員の活動環境の整備を図る。
- ・消防団資機材整備事業
消防団活動上必要な資機材等を更新する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S23	-	一般会計	自治事務(法令義務)	消防組織法	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	15,227	25,392	134,533	118,403	22,494
	決算	15,063	25,182	133,784	115,346	
	国・県支出		1,615	24,948	8,858	1,643
	市債		3,600	65,200		5,100
	その他			7	1	
	一般財源 一般会計繰入金	15,063	19,967	43,629	106,487	15,751
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		4,200	4,200	4,200	4,200	5,600
人工	正規	0.6	0.6	0.6	0.6	0.8
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困	○ 1.5	⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.5
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

老朽化や耐震性の劣る分団庁舎の整備や資機材の整備を行い、地域の消防防災力の充実強化を図ることで災害による被害の軽減を図る。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
女性消防団員の活動に配慮した消防団施設の数(施設)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値		15	16	18	18	20	22
実績値	14	15	16	18			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
耐震ランクⅢ相当の施設の解消率(%)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	94	94	95	95	95	96	100
実績値	93.4	93.4	94.2	94.2			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・消防団施設維持管理事業
消防団施設を適切に維持管理し、災害発生時の即時対応体制を保持する。
- ・消防団庁舎整備事業
消防団施設の老朽化や耐震性能不足を解消するため、計画的に改修・改築工事を実施し、地域防災拠点としての整備及び施設環境の改善を図る。また、分団庁舎の改築に併せて女性消防団員の活動に配慮した環境整備を図る。
- ・消防団資機材整備事業
浜松市消防団充実強化計画に基づき、新たに救出・救護用資器材を整備するとともに、消防団活動上必要な資機材等を更新する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・消防団施設維持管理事業
消防分団施設を適切に維持し、災害発生時の即時対応に支障のないよう施設運営を行った。
- ・消防団庁舎整備事業
老朽化した分団施設の改修を行い、地域防災拠点としての整備及び庁舎環境の改善を図った。また、女性消防団員が所属する分団庁舎の女性配慮化工事を行った。
- ・消防団資機材整備事業
各分団等に対し救出・救護用資機材(AED等)を整備したほか、各分団の消防資機材(消火活動用ホース)を更新した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・施設維持管理事業、庁舎整備事業による庁舎の改修工事等を行い、地域防災拠点としての機能維持を図った。
- ・消防団資機材整備事業について、浜松市消防団充実強化計画に基づき救出・救護用資機材の整備を開始した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 【改善:収集・分析】・施設の改修改築、耐震化、借地解消等の問題改善のため、長期的な視野で情報を分析・検討する。
- 【改善:改修・更新】・施設維持管理事業、庁舎整備事業による庁舎の改修工事等を行うことで長寿命化を図るとともに、女性団員が入団した庁舎については女性へ配慮した環境整備を実施する。

補助シート (事業名) 消防団施設運営事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
〇〇				
〇〇				

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

事業シート (事業名) 消防団員福利厚生事業

◇事業目的・事業対象

地域防災の要である消防団員の福利厚生制度の拡充を図るとともに、消防団員等の公務災害に対応し、十分な補償を確保し職務に専念できるようにすることを目的とする。

◇事業の概要

- ・消防団員退職報償金支給事業
退職した消防団員に対し、階級及び勤務年数に応じた退職報償金を支給する。
- ・消防団員等賞じゅつ金等支給事業
災害活動において死亡した消防団員と遺族に対する賞じゅつ金及び休業補償支給者のうち7日以上休業した消防団員に対して見舞金を支払う。
- ・消防団員等公務災害補償等共済事業
消防団員の福利厚生を図るとともに、消防団員等の公務災害に対し、十分な補償を確保する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S30	-	一般会計	自治事務(法令義務)	浜松市消防団員等公務災害補償条例他	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	161,573	153,819	157,805	169,047	143,646
	決算	146,438	131,074	129,673	128,226	
	国・県支出					
	市債					
	その他	64,128	49,533	48,254	54,465	67,566
	一般財源	82,310	81,541	81,419	73,761	76,080
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		4,200	4,200	4,200	4,200	5,600
人工	正規	0.6	0.6	0.6	0.6	0.8
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困	○ 1.5	⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.5
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

消防団員の福利厚生の充実を図り、職務に専念できる環境を構築し、消防防災力を強化することで、災害による被害の軽減を図る。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					-		H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	61	71	82	100	100	110	120	
実績値	67	74	91	93				

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・消防団員退職報償金支給事業
退職した消防団員に対し、階級及び勤務年数に応じた退職報償金を支給する。
- ・消防団員等賞じゅつ金等支給事業
消防団員の福利厚生を図るとともに、消防団員等の公務災害に対し、十分な補償を確保する。
- ・消防団員等公務災害補償等共済事業
消防団員の福利厚生を図るとともに、消防団員等の公務災害に対し、十分な補償を確保する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・広報展開を実施するも、消防団協力事業所数はほぼ横ばいの2事業所の増加に留まった。
- ・消防団員退職報償金支給事業
消防団員等公務災害補償等共済基金への加入率100%を達成し、退団した消防団員に対し、階級及び勤務年数に応じた退職報償金を支給した。
- ・消防団員等賞じゅつ金等支給事業
賞じゅつ金及び見舞金の支給対象となる事案の発生はなかった。
- ・消防団員等公務災害補償等共済事業
日本消防協会消防団員福祉共済に継続して加入した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ 消防団協力事業所表示制度についての広報活動を実施した。
- ・ 退団した消防団員への退職報償金の支給を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ 消防団員の活動環境の向上のため、消防団協力事業所表示制度を継続していく。
- ・ 消防団員の福利厚生事業は、消防団員が憂いなく災害活動を行うための制度であり、今後も継続していく。

補助シート (事業名) 消防団員福利厚生事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
〇〇				
〇〇				

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

事業シート (事業名) 消防団運営経費

◇事業目的・事業対象

継続的な消防団運営体制の確保のため、従来の働き盛り世代の男性のみならず女性や若者に対する加入促進活動を展開し消防団員数の充実を図る。また、消防団運営に必要な訓練会場の借上、消耗品の購入(装備品等)、郵便料等に係る経費を確保し、円滑な活動を行うことを目的とする。

◇事業の概要

将来にわたる継続的な消防団運営体制の確保のため、消防団員加入促進活動を実施する。特に、従来の働き盛り世代の男性のみならず、女性や若者に対する加入促進活動も展開する。
また、消防団の運営に必要な消耗品の購入等を行う。
・消防団活動に必要な消耗品等の購入に係る経費
 装備品等の購入
・静岡県消防協会西遠支部負担金
 県下消防団が連携し消防知識技術の向上を図り、消防活動の充実強化等を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S23	-	一般会計	自治事務(法令事務)	浜松市消防団に関する条例	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	8,788	10,644	9,070	8,261	9,633
	決算	8,486	10,320	8,564	8,052	
	国・県支出		2,446			
	市債					
	その他					
	一般財源	8,486	7,874	8,564	8,052	9,633
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		21,200	21,200	21,200	21,200	24,000
人工	正規	2.0	2.0	2.0	2.0	2.4
	再任用(h31)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困	○ 1.5	⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.5
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

継続的に消防団運営体制を確保するとともに消防団組織の充実を図ることで、消防防災力を強化し、災害による被害の軽減を図る。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
女性消防団員数(人)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	13	20	30	45	45	55	70
実績値	13	20	38	36			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

将来にわたる継続的な消防団運営体制の確保のため、消防団員加入促進活動を実施する。特に、従来の働き盛り世代の男性のみならず、女性や若者に対する加入促進活動も展開する。

また、消防団の運営に必要な消耗品の購入等を行う。

・消防団活動に必要な消耗品等の購入に係る経費

・装備品等の購入

・静岡県消防協会西遠支部負担金

県下消防団が連携し消防知識技術の向上を図り、消防活動の充実強化等を図る。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

・女性消防団員の入団者数は全体では2名の減員となった。

・消防団活動に必要な消耗品等の購入に係る経費について、装備品等を購入した。

・静岡県消防協会西遠支部負担金については、同団体が主催する研修会等への参加を通じて、消防団員が消防技術等を習得・習熟し、もって浜松市の災害対応能力の向上を図った。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・新たに公式Instagrmの運用を開始したことや、昨年度から継続しているイベント会場等における広報活動を行ったものの、十分な効果が表れてはいない。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・女性や若者を対象とした消防団への入団促進を引き続き展開していくほか、新たな層をターゲットとした広報活動の実施を検討していく。

補助シート (事業名) 消防団運営経費

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
〇〇				
〇〇				

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				